



## 建築文化の発展目指す

いらは・ともよし 1967年、那覇市出身。琉球大学卒、一級建築士。日本を代表する建築家である内井昭蔵氏のもと、石川県七尾美術館をはじめ数々のプロジェクトを担当。97年、㈱義空間設計工房を創立。NPO法人首里まちづくり研究会理事長も務める。

◆(公社)JIA沖縄支部事務局  
浦添市西原1-4-26 ☎098・943・8949



### 伊良波朝義さん

(公社)日本建築家協会沖縄支部支部長  
(有)義空間設計工房代表取締役

ことし6月、(公社)日本建築家協会(JIA)沖縄支部の支部長に就任した、(有)義空間設計工房代表取締役の伊良波朝義さん。「社会に頼られ、学びがあり、楽しめるJIAを目指したい」と抱負を語る。

# 次世代に継ぐ誇りと未来

「JIAの役割、沖縄支部の活動は？」

JIAは建築の設計監理を行う建築家の団体として、1987年に結成されました。建築はクライアントの大切な資産であると同時に、社会にとっても重要な資産です。建築の質の向上、まちづくり活動の支援、環境の保全と創造、建築文化の発展を目指し取り

組んでいます。

沖縄支部では、若手建築家の人材育成の場として「沖縄未来建築塾」「卒業設計作品選奨」を開催している他、東南アジア地域を中心とする「国際交流事業」、会員の作品発表の場となる「沖縄建築展」も毎年実施しています。また、40歳以下が対象の県主催コンペや沖縄建築賞の運営・審査にも

積極的に関わり、地域に根差した公益事業を展開しています。

「支部長としてのモットーは？」 私たちは建築を通して社会とつながる責務がある。会員それぞれが自覚を持って、市民や行政から頼られるJIA、会員や学生が学べるJIA、組織力を生かした楽しめるJIAを目指し、建築家の社会的信頼を強め、会員拡大にもつなげたいと思っています。

「今後の目標は？」

2021年にJIA建築家大会が沖縄で開催されることが決まっております、すでに準備が始まっております。沖縄建築文化の魅力を発信し、アジアも視野に入れた交流や活動拡大を図るチャンス。沖縄らしい企画を計画しており、大きな実りある大会となるよう頑張りたいと思っています。

また、一般の方々に家づくりを学べる場を提供したいと、カルチャースクールでの講座も持ちたいと考えています。

取材／赤嶺初美(ライター)

### 沖縄未来建築塾

#### 第4期生募集中



昨年の沖縄未来建築塾の様子

JIA沖縄支部は、沖縄の未来を創造する建築家の育成を目的に毎年開催している「沖縄未来建築塾」の第4期生を募集している。塾は全8回で講師には国内外で功績を残す著名人を招く。

伊良波支部長は「まちや文化創造に携わる建築家の仕事の崇高さ、おもしろさを若い世代に伝え、実務のできる建築家を育てたい」と話す。

塾生の対象となるのは、45歳以下の県内建築系学校に通う学生や建築系設計事務所勤務者など。申し込み締め切りは7月31日(水)。問い合わせはJIA沖縄支部のホームページ(<http://www.jia-okinawa.org>)。